

# 2018 広島の秋の風景コンテスト 審査結果

主催: 全日本写真連盟広島県本部  
応募者数: 44人 応募点数: 158点  
審査・講評: 北谷 弘(関西本部顧問)

推薦

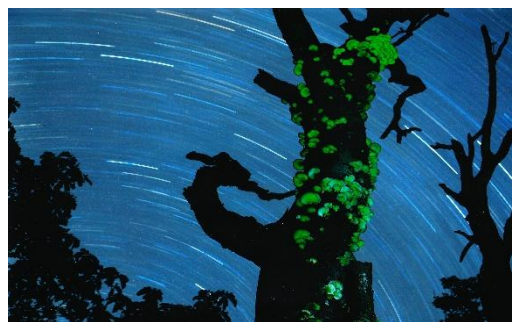


## 「干し柿の里」

鍵本祐次(広島市・東広島支部)

晴れ間のひととき、光線状態も良く、そのため干し柿が綺麗に浮かび上がって目を引きまします。そして画面の右側にある家に干された柿に綺麗に光が当たっていてこれが主題的なポイントとして目を引きまします。これを主題に左に奥行き感を見せ、又生活感もあつて上手に纏めています。

特選



## 「臥龍山の夜」

杉岡常久(広島市・佐伯支部)

夜の長時間露光による作画。画面では星の明かりの為でしょうか、綺麗なグリーンがシルエットの木に異彩を放って目を引きまします。木立も夜の為シルエットとなり、異様な雰囲気画面を盛り上げています。バックも星の流れによって一層雰囲気を盛り上げてくれたようです。



## 「静 寂」

和泉鉄美(広島市・佐伯支部)

長時間露光によってできた落ち葉の渦を主題に、静かな谷間の一時を感じさせています。光線状態も良く、流れによる奥行き感もあつてシャッターチャンス良く纏めた作品です。

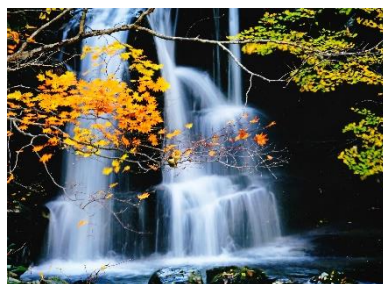
準特選



## 「夜明けの幻想」

荒川純一(広島市・佐伯支部)

ややあかね色を帯びた空、手前には町の光が山間に明るく夜明けを待っているようです。奥行き感を見せる三つの黒い山並み、少し靄のかかったような感じが一層幻想的な雰囲気を盛り上げています。中央にあるやや明るい光がポイントとして目を引きまします。



## 「秋 景」

土本岩子(呉市・呉支部)

綺麗な紅葉が目目を引きまします。バックも整理されているため滝の流れ、そして紅葉と緑の葉っぱもあつて色調良く纏めています。仕上がりが綺麗です。



## 「きらめく秋」

安田慶子(東広島市・タウン支部)

ススキだけでは単調になるところを色のある花を前ボケに置いて画面に変化を見せています。バックでは綺麗にススキがひかり秋を強調する作品となっています。

入選 (都道府県・支部)



「秋の終わり」  
河野宏志  
(広島市・タウン支部)



「秋の空」  
田中利弘  
(呉市・呉支部)



「月夜ダケ」  
荒川洋子  
(広島市・佐伯支部)



「水面の秋」  
谷本義己  
(呉市・個人会員)



「落葉の参道」  
此本健一郎  
(呉市・呉支部)



「仲良し」  
田中則子  
(広島市・タウン支部)



「瀬戸残照」  
瀬尾 清  
(海田町・フォトプラス支部)



「晩秋の朝」  
諸富 誠  
(広島市・佐伯支部)



「錦秋の里」  
西川 タモツ  
(呉市・呉支部)



「木洩れ日」  
西尾紀美子  
(広島市・タウン支部)